

郡上大和にて酒米プロジェクト始まっています！

大和町にある、明治から続く酒蔵「平野醸造」に水を分けていただいているという縁から、「勝手に応援団」になりました（スローコーヒー）小澤陽祐です。

昨年は、12月の新酒を祝う蔵開きイベント開催をお手伝いしました。酒米プロジェクトは、杜氏さんの年明け開口一番「今年は酒米づくりからやるでー！イノシシ年（猪突猛進）やしー！」の一声で始まったプロジェクトです。

去る6月某日、郡上、愛知、神奈川、東京から参加者総勢40名が、午前午後と田植え作業を行いました。その後ゆっくりとコーヒータムや大和の温泉で泥を落としたりご飯を食べました。最後にはホテル



を鑑賞し、楽しい一日となりました。

元々、大和の湧き出る清水をお酒の仕込水にしている酒蔵ですので、酒米も大和産になれば、かמוש杜氏も大和人という「オール郡上大和」ブランドの日本酒ができあがります。

これだけでもステキなことだと思いますが、もうひとつ大事なことは、この酒米づくりプロジェクトがうまくいき、お酒が売れていけば作付け面積も広がっていき、この先20年もすると耕作放棄地に

なってしまうかもしれない里山田んぼの風景を次の世代に残していくことができるかもしれません。私はそんな未来を夢みています。

将来は、自給用の飯米も郡上大和の田んぼで作れたら最高だと思っています！

リクエストに応じて8月17日（土）には酒米田んぼの草取り&BBQを開催します。興味をお持ちの人は左記へ問い合わせください。

問 平野醸造
88・2006



水柱

郡上市消防本部



住宅火災から、大切な「命」を守るために

住宅用火災警報器（以下、住警器）は設置していますか？

平成23年6月から、すべての住宅への設置が義務付けられています。設置率は100%ではありません。住宅火災から、大切な「命」を守るために住警器の設置と、適正な維持管理をしましょう。

住警器って何？

火災により発生する煙や熱を感知し、音や音声で警報を発して火災を知らせる機器です。種類は「煙感知式」と「熱感知式」があります。

消防法や市条例で設置が義務付けられている住警器は「煙感知式」です。

どこに設置すれば？

●全ての「寝室」

住宅火災では、就寝中に火災が発生し、逃げ遅れて亡くなることが多いため、早く気付くことができるように、「寝室」への設置が義務付けられています。

●寝室がある階の「階段」

煙は階段を通じて上の階へと

広がります。寝室が2階以上にある場合は、部屋に煙が充満する前に警報を鳴らして避難できるように「階段」への設置も義務付けられています。

どこで買えるの？

お住まいの近くにある電気店やホームセンター等で購入できますが、価格は機能や種類により異なります。

※不適切な訪問販売にご注意ください。

維持管理について！

日頃から清掃と作動試験を定期的に行い、いざというときに作動するようにしておきましょう。

市では、ミニ行政パートナーの保守点検を行っており、住警器の点検等を無料で実施しています。ご不明な点があれば、お気軽に近くの消防署所へお問い合わせください。

問 消防本部
67・0119